

寒気の南下により、北の国から雪の便りが聞かれるようになりました。11月13日には越美山系の山々の頂もうっすらと雪化粧をしました。当出張所管内の山間部の現場においては、冬期は雪深くなり工事を施工する事が出来なくなるため、年内が工期末です。完成に向けて空模様を気にしながら、最後の追い込みを行っています。

伊豆大島TEC-FORCE報告会

台風26号による豪雨で甚大な被害を受けた伊豆大島へ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)第2陣として、10月22日から28日まで大塚副所長と高橋設計係長が派遣されました。派遣された高橋設計係長より、現地の被害状況や調査内容など、今後他の職員が派遣された場合に参考となるように、所内報告会を11月12日に開催しました。

調査活動の苦労話だけではなく、食事の内容など生活面を含めて報告があり、とても参考となりました。



高橋設計係長



報告資料の一コマ

削孔が難航 = 矢中谷 =

揖斐川町東横山(ひがしよこやま)地先で工事を進める矢中谷(やなかたに)第2砂防堰堤流木対策工事(施工:西濃建設(株))では、土石流発生時に流出する流木を捕捉する流木止め工の設置と併せて、堤体の安定化を図るためグラウンドアンカーを設置しています。グラウンドアンカーによる堤体の安定化は、当事務所では初めて採用されました。定着部となる岩盤部が固く、削孔が思ったより難航しています。



ボーリングマシンによる削孔状況

挿筋でトゲトゲ = 小砂谷 =

本巣市根尾越卒(ねおおっそ)地先で工事を進める小砂谷(こさごたに)第1砂防堰堤流木対策工事(施工:田中建設工業(株))では、矢中谷同様に流木止めの設置と堤体の安定化を図っています。

小砂谷では既設の堰堤にコンクリートを腹付けする工法で堤体の安定化を図っています。新旧のコンクリートの一体化を図るために用心鉄筋を挿筋しています。挿筋により作業スペースが大幅に制約が生じるため、安全には十分気を付けて作業をしています。



挿筋後の型枠組立状況

事業の円滑な執行に向けて

11月14日に西美濃砂防治山連絡調整会議が開催されました。砂防事業と治山事業は同じ山間部で事業を行っており、両者の事業が重複することを避けるため、毎年、翌年度以降の事業箇所について調整を行っています。



調整会議の様子

上部工が姿を現す = 高地谷3橋 =

揖斐川町小津(おづ)地先で工事を進める高地谷(たかちたに)第1砂防堰堤道路工事(施工:西濃建設(株))では、橋梁上部工の鉄筋が組立が完了し、コンクリート打設を行いました。3橋の上部工は「単純PC中空床版桁橋」で、今後は所定の強度確認後に緊張をかける予定です。



鉄筋組立完了後の段階確認検査実施状況

なお、橋名については、林道管理者との協議の結果「天狗倉谷(てんぐくらたに)橋」と命名されることが決まりました。

いびがわマラソンが開催される

11月10日にいびがわマラソンが開催されました。当日は冷たい雨が降りしきる中、多くのランナーが紅葉の揖斐狭を駆け抜けました。また、沿道では町中をあげてランナーを応援していました。

当事務所からも白木調査課長がフルマラソンに、岩男事務所長と川島工務係長がハーフマラソンに挑戦し、見事完走しました。



揖斐狭を駆け抜けるランナー



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp